

園への苦情・ご要望（令和6年4月～令和7年3月）

1. 大雨の後、外廊下が濡れているのがわかりづらく、靴下等を濡らしてしまうことがある。  
（令和6年4月、保護者より）

〈対応〉外廊下をゴムチップ工事したことで濡れているところが分かりにくくなり、また乾きづらくなったことをご迷惑をお掛けしたことをお詫びし、早急に朝の時点でシートを敷いて対策をすることにしたことを伝え、ご理解いただきました。

2. お迎え時に、クラスの児童が下のきょうだい児に近寄ってきて頬を触った後叩いた。保育士は止めてくれたが、注意まではなかった。  
（令和6年6月、保護者より）

〈対応〉事実確認を行ったところ、時間外保育室への移動時に起きた出来事でした。移動中だったこともあり担任は見えておらず、担任外の保育補助職員が見ていた状況でした。その場で注意を促せていなかったことや、職員間での報告が十分でなかったことをお詫びし、今後気を付けていきたい旨をお話した結果、一定のご理解をいただきました。

3. 園敷地内で自転車に乗っている保護者と接触しそうになった。  
（令和6年11月、保護者より）

〈対応〉以前より、園の敷地内は自転車の乗り入れは禁止し、押して出入りしていただくようお願いしていました。今回の出来事があり、改めてお知らせを出して注意喚起をしました。また、出入口に「とまれ」と書いた貼り紙をつけた三角コーンを置いて、視覚的にも意識できるように対策を行いました。今後も懇談会や入園説明会等の際に繰り返し注意喚起を続けていきます。

4. 散歩のときに自宅前の側溝のふたを踏んでいくことがあり、大きな音がする。また、側溝の近くに苔が生えていて、それを蹴るなどして溝に落ちると掃除が大変で困る。ついでに、日中の子どもの高い声やお迎え時の子どもの声が大きくて耳に障るのでやめてほしい。  
（令和7年2月、近隣住民より）

〈対応〉すぐに全職員に周知し、散歩時の約束の見直しを児童とも一緒に行いました。あわせて、送り迎え中の出来事も含まれていましたので、保護者の方にも注意喚起のお知らせを掲示しました。近隣の方には直接お詫びに伺い、保育中や散歩時に迷惑のかからないよう気を付けていくこと、お知らせや懇談会等の機会を通じて、保護者の方に速やかに降園していただくようお願いしていくことをお伝えし、ご理解いただきました。